

完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付:2023年4月12日

事業ID:2022014096

事業名:知的・発達障がい児の為にサーフィンスクール(海と日本2022)

団体名:特定非営利活動法人Ocean's Love

代表者名:理事長 鈴木薫 印

TEL:0467-28-5120

事業完了日:2023年3月31日



■契約時

|       |   |             |
|-------|---|-------------|
| 事業費総額 | : | 3,300,000 円 |
| 自己負担額 | : | 660,000 円   |
| 助成金額  | : | 2,640,000 円 |

■箇所は【フォーム】収支計算書より自動転記

■事業完了時

|          |   |             |                      |
|----------|---|-------------|----------------------|
| 事業費総額    | : | 3,300,688 円 | 収支計算書の黄のセルの値         |
| 自己負担額    | : | 660,688 円   | 収支計算書の緑のセルの値         |
| 助成金額     | : | 2,640,000 円 | 収支計算書の赤のセルの値。千円未満は切捨 |
| 助成金返還見込額 | : | 0 円         | (収支計算書の青のセルの値)       |

1.事業内容

助成契約書記載の事業内容(予定)と、事業完了時の事業内容(実績)を対照可能とするため、助成契約書と一緒に綴じている「事業計画」の事業内容欄を転記した上、体裁を変えずに結果を記入してください。なお、事業内容を複数設定している場合は、各事業内容ごとの完了時の実績を個別に記入してください。事業内容が4つ以上ある場合は、一つの事業内容ボックスに複数ご記載頂いて構いません。

■事業内容1

(1)助成契約書記載の事業内容(予定)

1. サーフィン体験  
 (1)時 期:2022年5月~2022年9月(計35回)  
 (2)場 所:神奈川県茅ヶ崎市  
 (3)参加者:障がい児25名  
 (4)内 容:陸でのサーフィントレーニング、海でのサーフィン体験、海の安全講座

(2)事業完了時の事業内容(実績)

1. サーフィン体験  
 (1)時 期:2022年5月~2022年10月(計38回)  
 (2)場 所:神奈川県茅ヶ崎市  
 (3)参加者:障がい児26名  
 (4)内 容:陸でのサーフィントレーニング、海でのサーフィン体験、海の安全講座



(3)成功したこととその要因

障がいのある子どもたちがサーフィンを継続的に参加できる環境をつくれた。子どもたちに対して海の安全講習やウエットスーツ着用体験などの準備を進め、海に入る際にはボランティアさんに参加してもらい安全対策を行った。

(4)失敗したこととその要因

特になし

(5)事業内容詳細

実際にサーフィンを体験するまでに、室内で写真や映像を見ながら海のなかでの危険や波ができる仕組みなどの座学や、ウエットスーツ着用、サーフボードに乗る練習などを行い、段階的にサーフィンに大切な要素を学んでいった。そして、実際に海に入ってから、個々の特性やスキルに合わせて使用するボードやサポート体制を変えていき、自分で出来ることを増やしていき、上達する楽しさも体験してもらった。

■事業内容2

(1)契約時の事業内容

2. ビーチスポーツ体験  
(1)時 期:2022年10月~2023年3月(計25回)  
(2)場 所:神奈川県茅ヶ崎市  
(3)参加者:障がい児15名  
(4)内 容:ビーチスポーツ体験、ビーチトレーニング



(2)事業内容の実施(完了)状況

2. ビーチスポーツ体験  
(1)時 期:2022年11月~2023年3月(計24回)  
(2)場 所:神奈川県茅ヶ崎市  
(3)参加者:障がい児19名  
(4)内 容:ビーチスポーツ体験、ビーチトレーニング

(3)成功したこととその要因

夏以外にもビーチでカラダを動かしたり、ビーチスポーツを体験することで、海を身近に感じてもらうことができた。また個人スポーツのサーフィンだけでなく、チームスポーツを体験することで、集団での関係性を構築することが出来た。

(4)失敗したこととその要因

事業内容1のサーフィン体験を9月までの予定から10月まで延ばしたことにより、ビーチスポーツ体験の実施時期も後ろ倒しになり、実施回数が1回減少した。

(5)事業内容詳細

ビーチバレー、ビーチサッカーなどのビーチスポーツや、ビーチでのランニング、サーキットトレーニング、また室内ではサーフィンでのバランス感覚を養う体験トレーニングを中心に行った。バレーやサッカーはトレーニングとして行うとともに、選手に教えてもらいイベントも開催した。

■事業内容3

(1)契約時の事業内容

3. ビーチクリーン  
(1)時 期:2022年5月~2023年3月(計40回)  
(2)場 所:神奈川県茅ヶ崎市  
(3)参加者:障がい児15名  
(4)内 容:ビーチでの清掃活動、海の講座



(2)事業内容の実施(完了)状況

3. ビーチクリーン  
(1)時 期:2022年5月~2023年3月(計32回)  
(2)場 所:神奈川県茅ヶ崎市  
(3)参加者:障がい児29名  
(4)内 容:ビーチでの清掃活動、海の講座

(3)成功したこととその要因

海にゴミが集まる仕組みやマイクロプラスチックの海洋汚染の内容を絵本などで説明し、またサーフィンや海で活動したあとにビーチクリーンを行うことで、海をキレイにする大切さや海への感謝の気持ちを醸成した。

(4)失敗したこととその要因

なし

(5)事業内容詳細

開催場所は、サーフィンやビーチ活動を行う茅ヶ崎市のヘッドランドビーチやサザンビーチ周辺で実施。サーフィンやビーチ活動の後、またはビーチまで歩いて行き、燃えるゴミ、燃えないゴミ、マイクロプラスチックなど回や担当で捨てるゴミの種類を分けて行った。

■事業内容4

(1)契約時の事業内容

(2)事業内容の実施(完了)状況



(3)成功したこととその要因

(4)失敗したこととその要因

(5)事業内容詳細

2.契約時事業目標の達成状況:

(1)助成契約書記載の目標

1. サーフィン体験  
参加人数:児童延べ25名 体験回数:ひとり平均20回以上  
海の活動への関心度、自己肯定感向上:75%以上(参加者へのアンケート調査を実施)

2. ビーチスポーツ体験  
参加人数:児童延べ15名 体験回数:ひとり平均15回以上  
海の活動への関心度、自己肯定感向上:75%以上(参加者へのアンケート調査を実施)

3. ビーチクリーン  
参加人数:児童延べ15名 体験回数:ひとり平均20回以上  
海の保全への関心度向上:75%以上(参加者へのアンケート調査を実施)

1~3合計  
メディアによる掲載:3媒体以上

(2)目標の達成状況[700文字以内]

| 入力文字数  | 454          | 文字数チェック       | OK |
|--|--------------|---------------|----|
| 1. サーフィン体験   | 参加人数:児童延べ26名 | 体験回数:ひとり平均14回 |    |
| 2. ビーチスポーツ体験   | 参加人数:児童延べ19名 | 体験回数:ひとり平均12回 |    |
| 3. ビーチクリーン   | 参加人数:児童延べ29名 | 体験回数:ひとり平均11回 |    |
| <保護者アンケート>   |              |               |    |
| ■海の活動への関心度:(設問)サーフィンを体験した後の海の活動への関わり方。                           |              |               |    |
| ①保護者として海に行かせたい 50.0% ②保護者としてサーフィンを続けさせたい 56.1% ③海がより身近になった 61.1% |              |               |    |
| ■自己肯定感/社会性:(設問)サーフィンにチャレンジすること自体やボランティアさんとの交流によるお子さまの変化。         |              |               |    |
| ①お子さまの自信につながった 55.6% ②お子さまの社会性の向上につながった 88.9%                    |              |               |    |
| ■海の保全への関心度:(設問)ビーチクリーンを体験した後の環境に対するお子さまの様子。                      |              |               |    |
| ①お子さまが海を好きになった 66.7% ②ゴミをきちんとゴミ箱に捨てている 88.9%                     |              |               |    |
| 1~3合計 メディアによる掲載:なし   |              |               |    |



### 3.事業実施によって得られた成果

■障がいのあるお子さんが継続的に海の活動を体験できる体制  
週末だけでなく放課後でも海の活動を実施できるような体制を構築した。  
放課後等デイサービスのプログラムの一環としてサーフィンを取り入れることでワンストップで行えるようになった。  
①学校へのお迎え ②来所してウェットスーツへの着替え ③海まで車で移動 ④海でのサーフィン(スタッフ/ボランティアによるサポート) ⑤帰所して着替え ⑥自宅までお送り

■「自分で海を楽しむ」ためのプログラム  
ただサーフィンを体験するだけでなく、「自分」で「安全」に楽しめるようになるためのプログラムを構築。  
海の安全講習、波ができるメカニズム、ウェットスーツ・ライフジャケット着用体験、室内サーフトレーニング、サーフィン体験(スキルに合わせて)など連続的に行うことで、海の理解度を深められるプログラムとなっている。

### 4.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案

■平日のボランティア確保  
週末に比べ平日のボランティア確保の難易度が高く、団体スタッフだけでも成立する運営方法も検討する。  
また、大学・高校との連携によって学生ボランティアの参加促進を検討する。

■児童に対する心理的変容アンケート実施  
サーフィンやビーチスポーツを体験することになって、子どもたちの心理に与えた影響を調査するための方法として、本人に対するアンケートの回答収集が難しく、保護者だけでなく、団体スタッフや学校の先生など多面的に判断できる情報収集の方法を検討する。

### 5.事業成果物

(1)助成契約書記載の成果物名称

報告書

(2)事業完了時の成果物名称

完了報告書  
活動写真



(3)未作成となった要因

(4)成果物を登録したウェブサイトのURL

[http://nippon.zaidan.info/jigyo/2022/0000097630/jigyo\\_info.html](http://nippon.zaidan.info/jigyo/2022/0000097630/jigyo_info.html)

収支計算書

(2022年5月1日から2023年3月31日まで)

団体名: 特定非営利活動法人Ocean's Love  
 事業名: 発達障がい児の為にサーフィンスクール(海と日本)

(収入の部)

(単位:円)

| 費目         | 予算額 (A)   | 決算額 (B)   | 受入済額 (C) | 未収額<br>自動計算(A-C) | 助成金返還見込額<br>自動計算(A-B) |
|------------|-----------|-----------|----------|------------------|-----------------------|
| ①日本財団助成金収入 | 2,640,000 | 2,640,000 |          | 2,640,000        | 0                     |
| ②自己負担      | 660,000   | 660,688   | 660,688  |                  |                       |
| ③収入合計      | 3,300,000 | 3,300,688 | 660,688  | 2,640,000        | 0                     |

(支出の部)

(単位:円)

| 費目           | 日本財団承認済の予<br>算額 (x) | 決算額 (y)   | 支出済額 (z)  | 未払額<br>自動計算(y-z) | 補足説明、備考 |
|--------------|---------------------|-----------|-----------|------------------|---------|
| 給料 手当        | 1,890,200           | 2,182,032 | 2,182,032 |                  |         |
| 諸謝金費         | 240,000             | 248,000   | 248,000   |                  |         |
| 旅費交通費        | 703,000             | 638,540   | 638,540   |                  |         |
| 印刷費          | 10,000              | 0         | 0         |                  |         |
| スクール費        | 411,500             | 201,240   | 201,240   |                  |         |
| 保険料          | 31,500              | 28,676    | 28,676    |                  |         |
| 雑費           | 4,400               | 2,200     | 2,200     |                  |         |
| 支出合計(端数調整前)  | 3,290,600           |           |           |                  |         |
| 端数調整欄        | 9,400               |           |           |                  |         |
| ④支出合計(端数調整後) | 3,300,000           | 3,300,688 | 3,300,688 | 0                |         |

※助成金・負担金額の確定は監査終了後、当財団よりご連絡いたします。

※予算額に対し、決算額が下回った場合、助成金の返還が生じます。